

インターンシップ 報告会

今年の夏のインターンシップに参加した十八名の学生(三年生)が参加しました。そして十月九日、在学生および教職員の前で体験発表会を行いました。

実習先は民間企業が十二社、公的機関・他(市役所・区役所、財団法人)が三機関の合計十五ヶ所でした。実習期間は夏休み期間中の五日〜十日間です。

また、インターンシップ参加に際しては、ビジネススマナー研修等の事前準備を行いました。

体験発表会では①インターンシップに参加した目的、②実習で勉強になったこと、③この体験を就職活動にどのように活かすか、等について発表してもらいました。

発表内容で、「参加目的」については「自分が希望している業界や会社を実際に見てみたい」、「社会人として大切なことは何か知りたい」、「企業が求める人材とはどんな人か知りたい」、「自分にとっての職業は何か知りたい」などが発表されました。

また「実習で勉強になったこと」については、「コミュニケーション能力の大切さ」、「社会人としてのマナーの大切さ」、「自ら積極的に行動することの大切さ」、「他校の学生の考え方」などを学ぶことができたことでした。

そして今回参加した学生のほぼ全員が「インターンシップに参加してよかった。学校では学べないことを学べた。この実習で得たものを今後の就職活動に役立てていきたい。」との感想でした。

(実習先)

- ・イオン(株)ジャスコ兼取店
- ・イオン(株)ジャスコマリニピア店
- ・アデコ(株)
- ・リコー販売(株)
- ・富士ゼロックス千葉(株)
- ・ネットトヨタ千葉(株)
- ・トヨタカローラ千葉(株)
- ・千葉中央会計事務所
- ・プラムシックス(株)
- ・京成トラベルサービス(株)千葉支店
- ・世広(株)
- ・ちばぎん総合研究所
- ・(財)ちば国際コンベンションビューロー
- ・江戸川区役所
- ・千葉市役所



アデコ(株)

経済学部 経営学科三年 遠藤 順子



インターンシップが始まる前、今までアルバイトというものを体験したことがない私は働くということがどういうことなのか全くイメージできずにいました。私は将来レコード業界に進みたいと思っており、今の自分には何か必要かを少しでも知ることができればと思いインターンシップに参加しようと思った。

今回私は「アデコ株式会社」と

いう人材派遣会社でインターンシップ実習をさせて頂きました。最初の三日間は本社での研修、その後三日間ずつ千葉支社と日本橋支社での実習を行い、最終日は再び本社でキャリアカウンセリングと成果報告というを行いました。

研修中、講師の方や挨拶をしてくださった方々が揃っておっしゃっていたのが「積極性」でした。普段とても積極性があるとは言えない性格の私にとっても耳の痛い言葉でした。しかし、これを機に自分を変えるのも良いだろうと思ひ、研修中は挙手制で順番を決める時にはなるべく率先して挙げるようにしました。緊張はしましたが、失敗してもやりきること、その失敗を次にどう活かせば良いかというふうに良い意味で

開き直れるようになりました。また、研修を受ける前に言われたのが「返事をすること」。当たり前のことながら、実際には思っている以上にできていませんでした。これは普段から習慣付けておくことが必要だと思ひ、それと同時に相手の話をきちんと聞く姿勢も身に付けなければいけないと思ひました。

支社実習では、クライアントからお話を聞いたり、実際派遣として働いていらっしやるスタッフさんから仕事状況を聞いたり、一日中営業の方に同行していました。既存のクライアントやスタッフさん方は、営業の方をとて信頼している様子でとても話が弾んでいました。後で聞くと、ここまで信頼を得るにはコツコツ足を運ぶという地道な努力があるからこそだと教えていただきました。やはり何事も小さな努力の積み重ねだと改めて思いました。

今回同行させていただいた営業

ネットトヨタ 千葉(株)

経済学部 経営学科三年 増田 彰宏



の方々、お話を聞いてみると皆さんが私に「人材派遣は楽しい仕事」だと言って下さいました。この言葉を聞いて私はこのインターンシップで、働くことは大変ではあるけれども、その中に遣り甲斐があるからこそ成り立つのだらうなと感じました。これからの就職活動で私もそんな遣り甲斐を得られる仕事に就けるよう納得のいくまで取り組んでいこうと思ひます。また当たり前の事を当たり前にできるような普段からも心掛け、実践できるようにします。

実習四日、店舗実習五日の日程で行われました。インターンシップ応募に際しては、エントリーシートと面接、その後面接があり、本番の就職活動に向けてよい練習になりました。

本社はマナー講座や自動車業界の現状などの話を聞き、さらにネットトヨタ新港の見学を行いました。実際に働いている人達の声を聞くことができたのでとてもよい経験になりました。本社実習ではどんなことにも自分の意見を持つことの大切さを学びました。他にも「ミステリーショッピング」として社員の研修生が行うことも経験させてもらいました。また他校の学生もたくさんいて、いろんな話ができてとても勉強になりました。

店舗実習では開店準備や朝礼から、お客様の対応や「お見送り、商談見学、査定見学、洗車などを行いました。本社の人に「指示待ち人間になるな」というアドバイスを貰っていたので初めから積極的に行動しました。普段はあまり積極的に行動できるほうではないので、意識して積極的に行動することの大切さも学びました。また営業の人に同行して傍らでどんな仕事をしているのか、どのように仕事を進めているのかを肌で感じることができたのは大変勉強になりました。その中で実際に仕事をしていた苦勞したこと、感動したこと、やりがいを感じたことなど色んな話を聞くこともできました。

実際の店は社員全員が一丸となって働いていました。車とは決して安い買い物ではありません。お客様に安心して車を買って貰えるように分かりやすく、どんな小さな疑問にも答えている姿に社会人としての姿勢を感じることができました。「車とは買って貰ってから始まる」と本社の人が言っていました。

キャンパスパスをつくりました。



この度、父母の会のご支援により、写真のようなキャンパスパス(エコ)バッグを作成しました。現在、希望する学生には一人一つに限り無料で配布しています。

これは、教科書・ノートなどの教材や体育用の着替えを入れるのに便利なものです。希望する学生は学務課窓口までお出下さい。

本年度のオープンキャンパスを盛り上げる

オープンキャンパスの充実

- ・学内見学
- ・卒業生、在学生との懇談
- ・個別相談(カリキュラム、就職、奨学金等)

本年度は、本年度のオープンキャンパスを別表のとおり実施しました。高校生および既卒者の参加者は合計で五百八十九名であり、わずかとはいえ前年度を上回っています。最近の傾向として、受験生は各大学のオープンキャンパスに参加し、大学の施設や特色を自分の目や耳で確認し、志望校を決めるケースが多くなっています。本学でもこうした状況に対応し、教職員だけでなく、在学生(学生指導員)や卒業生にも協力してもらい、オープンキャンパスの内容の充実を努めました。

- 一、全員参加プログラム
- 二、選択プログラム(複数選択可)
- ・模擬授業体験

本学の特徴および入試の説明ももちろん、改善を求める意見もありますので、内容のさらなる充実に向け、検討していきたいと考えています。

また、前述したとおり、本年度からは学生指導員にスタッフとして協力してもらっています。高校生や保護者の方に直接話しかけたり、質問に答えるという経験は、学生にとっても有意義なものであり、今後の学生生活や就職活動等にも活かせるものと思ひます。

さらに、最近保護者の方の参加も急増しています。そこで本学では、保護者説明会のコーナーを設け、保護者向けの説明を行うとともに、保護者の方の疑問や質問に個別に対応しています。

父母の会補助で学食の特別メニューが始まりました!

前号でもお知らせしましたが、皆さんの父母で組織している父母の会の補助により、学食の定食メニューが豪華になりました。1食単価1200円前後の食事が450円で食べられます。限定80食! 「父母(ふぼ)」のゴロに合わせて、5月、7月、11月、1月の各28日に年間4回実施されます。第1回及び第2回は、下記のメニューで実施され、それぞれ80食が完売しました。

- 第1回: 5月28日(水)
 - ・ローストビーフ
 - ・そら豆のサラダ
 - ・オニオンスープ
 - ・ケーキ
- 第2回: 7月28日(月)
 - ・うな丼
 - ・牛ごぼうのキンピラ
 - ・汁物
 - ・メロン

第3回(11月28日(金))及び第4回(1月28日(水))のメニューは、その月の初めにホームページや掲示などでお知らせします。



受験生の志望校を決定する大きな要因となっているオープンキャンパス。本学の特色や魅力が受験生や保護者の方に十分伝わるよう、その内容の検討をさらに進めていきます。

平成20年度オープンキャンパス参加者

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計
高校生・既卒者	81 (52)	117 (153)	160 (180)	142 (115)	50 (44)	39 (41)	589 (585)
(うち 女子)	15 (14)	24 (32)	24 (17)	35 (29)	12 (8)	5 (6)	115 (106)
保護者	10 (9)	30 (18)	26 (11)	21 (12)	5 (3)	5 (2)	97 (55)

※ () 内は、昨年度の参加者数

父母の会安全報

父母の会会長就任にあたり

千葉経済大学父母の会会長 澤口 仁



すまず清潔の事とお喜び申し上げます。日頃より父母の会の活動に多大なご理解とご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。今後千葉経済大学の更なる発展と父母の会のますますの充実のため、皆様方の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。どうか宜しくお願い致します。

父母の会活動報告

このたび父母の会の会長になりました澤口仁と申します。今後とどうぞ宜しくお願い致します。会員の皆様におかれましては

毎年お預かりしている父母の会費は、大学の会計とは別に父母の会から委嘱されて学務課が管理し、その運営は学生会と協議しながら、学生が快適な学園生活を送れるように、様々な方法で支援をしています。

- 各種模擬試験受験料
- 新入生歓迎会経費支援
- 卒業謝恩会経費支援
- スポーツ大会経費支援
- 大学祭経費支援
- 交通安全講習会・トレーニングルーム講習会の実施
- 学友会主催クリスマスパーティーの補助

いただき教員採用試験にも合格しました。しかしながら縁あって教育以外の仕事に就いていますが、少しでも教育現場のお役に立ちたいと子どもが中学校に入った時からPTAの役員をしてきました。

地域懇談会の開催

父母の会顧問 高屋 和彦

アメリカの教育者ジョン・デューイは「教育はすなわち生長である。教育がなければ生長はない。教育が進歩しなければ社会もまた進歩し得ない」と断言しています。教育が進歩してこそ社会は進歩するとの趣旨でしょう。彼の持論は「人間の自発性を重視するものである。彼は人間の自発的な成長を促すための環境を整えるのが教育の役割」というものです。

九月二〇日(土)、毎年恒例となっている父母の会主催の地域懇談会が本学で開催され、父母の会から、澤口会長と椎名副会長が出席されました。

個別面談では、七月に実施された前期定期試験の結果をもとに、成績表の見方や単位取得の状況が説明されます。さらに、卒業するために必要な単位の修得など、今後の勉強状況はもとより、クラブ活動や就職活動その他あらゆる学生生活全般についても話し合われます。ご父母にとっては、学生の大学での勉強や学生生活などに、教員にとりましても個々の学生の家庭での状況がつかめ、今後の学生指導に役立てていきます。

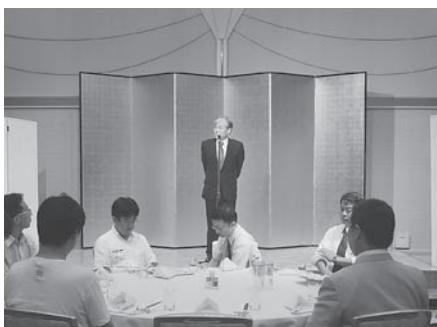
平成20年度 父母の会予算

(1) 一般会計予算

収入の部			支出の部		
科目	今年度予算額	前年度予算額	科目	今年度予算額	前年度予算額
会費収入	21,400	22,240	会議費	50	400
受取利息	15	7	会報・名簿発行費	1,000	1,000
雑収入	0	0	地域活動費	600	700
繰越金	3,764	5,664	行事後援費	2,700	2,500
			クラブ活動助成費	5,600	5,500
			就職活動費	4,150	4,000
			施設整備費	900	900
			修繕費	300	300
			慶弔費	250	300
			事務費	150	200
			消耗品費	50	100
			通信費	500	600
			旅費交通費	100	250
			賃金謝礼費	300	100
			雑費	10	10
			施設充実積立金	5,000	7,000
			予備費	3,519	4,211
収入の部合計	25,179	28,071	支出の部合計	25,179	28,071

(2) 施設充実積立金会計(定期預金)

前年度末定期預金残高	本年度中増減高			本年度末定期預金残高
	一般会計より繰越	受取利息	支出額	
33,871	5,000	50	0	38,921



同窓会定期総会・懇親パーティーで楽しい一時を... 平成二十年七月二十六日(土)、同窓会定期総会・懇親パーティーが、千葉市内の三井ガーデンホテルにて開催されました。

同窓会会報

正社員ではなくフリーターや、時には、進学も就職もしないニートとなる者も見受けられます。本学では、就職希望の学生に対して就職支援活動を行うとともに、ゼミ担当教員が勉学の指導はもとより、進路・就職のアドバイス、動機づけを与えるなど、全学的な進路支援を展開しています。



親パーティーはとも和やかでアットホームな雰囲気です。総会では、「平成十九年度決算」「平成二十年予算」「役員選任」各種補助金などについて審議・報告されました。

閉会後も名残惜しいせいか、なかなか会場を後にできないグループがたくさんありました。おそろしく二次会、三次会が行なわれ、夜遅くまで思い出話を花を咲かせていたのではないのでしょうか。

- 平成十九年度決算について
 - 卒業記念品の贈呈
 - 卒業謝恩会の開催
 - クラブ・大学祭等への援助
 - 会員への大学新聞等の送付
 以上が本学同窓会の主な事業内容で、これらを卒業生より三〇、〇〇〇円の終身会費をいただき運営しております。平成十九年度の決算については、
- 〈収入の部〉
 - 二八四三三、〇三九円
 - 〈支出の部〉
 - 二〇、九七九、〇二八円
 - 〈次年度繰越金〉
 - 七、四四四、〇一一円
- 以上を説明・報告のち承認されました。
- 第二号議案
 - 平成二十年予算について
 - 前述の①④の事業内容を中心例年どおりの運営を行っていく予定です。詳細な予算案につきましては、異議無く了承されました。
 - 第三号議案
 - 役員選任について
 - 今年三月に卒業した第十七期生から五名の新役員を迎え、役員は総勢で八十名となりました。また、新役員より芝入和敏さんを副会長として推薦し、賛否をはかったところ異議なく承認されました。
 - 第四号議案
 - その他
 - 平成二十年より、クラブ・ゼミ合宿補助金を一人につき一泊二、〇〇〇円に増額することとなりました。
- ご存知でしたか?
 - 同窓会定期総会は毎年七月最終土曜日に開催されています。
 - ◇会費は無料となっています。
 - ◇ご夫婦、ご家族、お子様連れの出席を歓迎しています。
- 同窓会定期総会は懇親会パーティーです
 - 「定期総会」という言葉を聞くときついイメージがありますが、同窓会事務局より、同窓会における一年間の会計報告・活動報告を少し聞いただけです。
 - あとは、おいしい料理を食べながら、同窓生と本学教職員、在学生が語り合う「懇親パーティー」が中心となります。
 - 在学生からは、学友会執行部、大学祭実行委員会、各課外活動団体などの学生が母校の様子を皆さんに報告しに来ています。

大学祭を終えて

第21回千葉経済大学祭実行委員会
委員長 石井 雄大

平成二十年十月二十六日(日) 十九時三十分、学生ホールで行われた後夜祭が終了しました。その瞬間、私たち千葉経済大学の学生祭は参加団体の方々の大きな拍手により、盛大に幕を下ろしました。

例えば、五月上旬に立ち上げた大学祭実行委員会でしたが、大学祭当日を迎えるまで様々な問題がありました。まず、クラブの方々へ参加を呼びかけ、諸所の説明を行いました。また、例年と比べて実行委員会の人数が少なく、思うように作業が出来ない時もなくありませんでした。



そんな時、頭に浮かんでくるのは、大学祭のテーマである「Resonance」でした。Resonanceとは共鳴の意味を持ちます。人に説明する際には誠意をもって話を伝え、また、常に周りのメンバーと協力することを念頭に置き、動いてきました。

そして迎えた大学祭最後のイベント「後夜祭」。二時間三十分の間、無事に企画を進められ、終了時刻に達しようとしていました。その時、ふと脳裏に「Resonance」の言葉が浮かび、協力して下さった全ての方々へ御礼を伝えたいと考えました。

最後に、第二十一回千葉経済大学祭にご協力して下さいました皆様へ、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

続いて二日目。この日の天候は若干小雨と、不安な状態が続いていました。しかし、徐々に雲りとなり、ほぼ全ての企画をステージで行うことが出来ました。

毎年、大学祭撤収時においては、作業が終わらず、実行委員会が後夜祭に参加出来ないといった問題がありました。今年は私たちが実行委員会の友人や卒業生のお力添えもあり、スムーズに撤収を終わらせることが出来ました。



動をしていた事が認められ、感極まる瞬間が訪れたのです。大学祭とは、出会いの場です。同時に多くの事を学ぶ場でもあります。私たちが実行委員会が学んだことは、協力とは力添えをすれば協力と言え、共鳴とは力添えだけでなく、その想いも同一のものとなるということを知りました。そして、それは社会に出た後でも大切なことであり、最も重要な事柄の一つであると私は考えております。

学生指導員十一名がボランティア活動に取り組みました



八月十七日(日)、本学学生指導員十一名が、千葉市主催の親子三代夏祭り、「ごみ分別ナビゲーター」としてボランティア活動に取り組みました。

今回のボランティア活動は、本学として本格的にボランティア活動に取り組んだ最初の試みです。

ボランティア活動に参加した理由、まず一つ目に、大学生活の長い夏休みを利用して、何か新しいことに挑戦してみたいこと、二つ目は、ボランティア活動を今までに体験することがなく、この機会に参加しようと思いました。

親子三代夏祭りでの活動は、学生指導員が、それぞれ各ゴミ置場に立ち、お祭りの来場者がゴミを捨てる際に、可燃ゴミ、カン・びん、割りばし、ペットボトルは本体とキャップを分別して、ゴミを捨ててもらえるように、声を掛けるといったものが主な仕事でした。

私が担当したゴミ置場は人の流れが多く、時にゴミ置場が混雑することもありました。来場者のほとんどの方が、ゴミ箱を見渡して、分別に協力して頂き、しっかりとゴミが分かれていました。来場者の人のなかには、一度ビニール

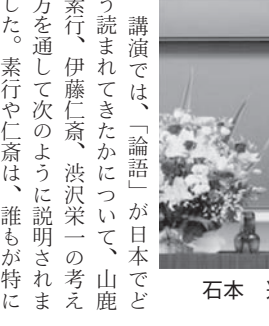
袋にまとめたゴミを、ビニール袋からゴミを出して、使用した割りばしと、可燃ゴミを分けてゴミを捨ててくださる方もいたので、個人的に嬉しかったです。

今回のボランティア活動のなかで得られたことのひとつとして、私たちがボランティア活動をして、来場者にねぎらいの言葉をかけて頂いたことです。分別をしているとき、来場者の何人かの人に、「ご苦労様」「がんばってね」といった声をかけていただきました。このことから、出店の商品を売る、

図書館講演会のお知らせ

本学図書館では学生・教職員と市民の方々を対象に講演会を毎年実施しております。今年度は第二回目になりますが、左記のとおり開催いたしますのでご来場くださいますようお願いいたします。

- 一、講師 村山吉廣氏 (早稲田大学名誉教授)
- 二、演題 孔子の人間学
- 三、日時 平成二十年十二月六日(日) 午後一時~午後二時三十分
- 四、会場 千葉経済大学 二号館二〇一教室



講演では、「論語」が日本でどう読まれてきたかについて、山鹿素行、伊藤仁斎、洪沢栄一の考え方を通して次のように説明されました。素行や仁斎は、誰もが特に

となり、著名な専門家に講演をお願いしております。昨年度は中国文学者の守屋洋先生に「中国古典に学ぶ『論語』と『孫子』」と題してお話をいただきました。守屋先生は、論語に含まれるキーワード(徳、仁、智など)や孫子の箴言(「戦わずして勝つ」など)を通じて、自分を磨くための人生の指針について分かりやすく説明されました。

今年度第一回目は七月に国学院大学教授の石本道明先生に「経世済民の『論語』—素行・仁斎・洪沢栄一—」という演題でご講演いただきました。

今回の講師、村山吉廣先生は『詩経の鑑賞』『論語名言集』など数多くの著作があり、早稲田大学を始め各所で公開講座も精力的に行われております。中国古典への新たな入り口を見つけたら、ぜひこの機会として是非ご参加ください。

千葉経済大学公開講演会

主催 千葉経済大学地域総合研究所

後援 千葉県教育委員会・千葉市教育委員会

演題 「現代の食料問題 —安心・安全・安定の視点から—」
グローバル化とともに、食料問題は新しい段階を迎えています。私たちが、安全で安心な食べ物を安定して手にするためには、どのようなことが必要なのか。新しい見方、考え方を提起します。

講師 中嶋 博康氏
東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
主な著書等：『農業問題の経済分析』『食の安全と安心の経済学』『食品安全問題の経済分析』

日時 平成20年12月7日(日) 13:00~15:00

場所 京葉銀行文化プラザ(元千葉市文化交流プラザ)
千葉市中央区富士見1-3-2 JR千葉駅東口より徒歩3分

定員 200名

受講料 無料

申込期間 平成20年11月1日(土)~12月4日(木)

申込方法 往復ハガキまたはメールで①郵便番号、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢、⑤性別、⑥職業、⑦電話番号をご記入のうえ、お申込下さい。

申込先 千葉経済大学公開講演会係
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町3-59-5
電子メール gakumu-8@cku.ac.jp

問合せ先 千葉経済大学 学務課 TEL 043(253)9111

